**第一五三回ペン川柳　　お題「響く」（自動詞）**

**世話人：平尾富男（酔深）**

**日時＝平成二十九年一月二十七日（金）稲田屋新宿西口店**

**参加者＝安藤晃二（晃二）、山縣正靖（安兵衛）、宍戸三春（火酒）、西川武彦（酔雅）、浜田道雄（我々好）、富田佳瑞（鬼瓦）、平尾富男（醉深）、稲宮健一（井波）、大野昰（だし）、松谷隆（零門）　（１０名）**

**欠席者＝\*岩崎洋一郎（不言）、\*八木信男（明迷）、細谷博（損得）　（３名、\*印は投句）**

（**\***印は今月の互選句）

**\*１．つぶやきが世界に響き皆慌て　（我々好）　←　（４票）**呟きとは**ツイッター**のこと。トランプ米大統領の発するツイッターに世界が一喜一憂する世の中になりました。その力が以前に比べ急速に落ち込んでいるとはいえ、世界に冠たる超大国アメリカの大統領の内向きで乱暴な発言によって世界は混乱しています。

**２．何すれど体に響く喜寿となり　（晃二）　←　（１票）**七十歳も半ばを過ぎれば、何をしようにも体に響くのです。年は取りたくないものだと嘆く作者は、「何をするか」の**「何」**に特定のことを考えているようです。座のほとんどの川柳子が共感しています。その割には得点が入りませんでした！

**３．除夜の鐘薄暮に響き迷い消え　（鬼瓦）　←　（０票）**深夜の除夜の鐘が安眠妨害だと、近頃は住民からクレームがでるそうです。でも夕方に響き渡っては「迷い消え」どころか「迷い増え」になりそうですね。

**４．胸キュンと響いた君よ今いずこ　（安兵衛）　←　（２票）**六十年以上も昔に青春の初心な心を惑わした（**胸キュンとは少女趣味的なロマンティシズム**）乙女を思い出しています。作者はまだまだ気持ちがお若いのです。尤も今再会してがっかりしないように！

**５．響かぬよ上から目線のアドバイス　（不言）　←　（２票）**元句の下五は**「忠告は」**でしたが、体言止めの**「アドバイス」**に添削されました。確かに助言は**「友情ある説得」**が最高です。

**６．もう切るぞレモンに響き実をつけた　（零門）　←　（１票）**作者は自宅の庭のレモンの樹に愛着を持っています。その樹に向かって**「実を付けないと切ってしまうぞ」**と言う（脅かす）と毎年ちゃんと実をつけてくれるのです。世話人もお裾分けを頂いています。

**７．隣室の轟音響いて戦意失せ　（酔深）←　（１票）**隣の部屋の**轟音とは何**だったのでしょう？　それにしても**作者はヤル気（戦意）を失くして**しまったとは！　何をしようとしていたんでしょう！　読者のご想像に任せるとは作者の弁です！

**\*８．身体より家計に響くと禁酒令　（火酒）　←　（６票）**残念ながら次点になりましたが、**文句なしの高得点**です。過度の飲酒が家計より身体に障るのを心配する**母心**を詠んでいるのです。お酒大好きな作者の自戒の唄でしょうか？！

**９．ジャズよりも恨歌が響く負け世代　（だし）　←　（１票）**負け世代とは作者の世代＝戦争世代なんです。作者はジャズよりは艶歌が心に響くと言っています。元句では**「演歌」**でしたが**「恨み歌」**に添削されました。

**１０．悪友の諌めの言葉胸響く　（不言）　←　（３票）**親・親戚よりもいつも一緒にいる遊び仲間、それも悪い仲間の諌言が身に沁みるもんなんです。

**１１．浅草で響くサンバと揺れるボディ　（井波）　←　（０票）**下五は字余りでしたので、**「揺れる胸」**、或いは**「くねる腰」**では如何でしょうか？　気持ちの上ではボディと言いたいですが……。ブラジル女性の艶めかしいサンバの舞いが浅草で見られるようになりましたね。

**\*１２．トランプの呟き響き車ゆれ　（酔雅）　←　（３票）**トランプ大統領が日本車に対して**ツイッターで噛みつき**ました。アメリカ製の車製造の衰退の原因と恨んでいるんです。

**１３．どんと焼き家内安全炎（ひ）の響き （鬼瓦）　←　（０票）**下五の**「炎の響き」**に少し無理がありましたね。「どんと焼き」とは無病息災・家内安全を祈る小正月の行事。しめ縄や門松等を焼く音が響くと詠っているのでしょうね。

**\*１４．錚いも睦も響く安普請　（明迷）　←　（５票）**夫婦間の争いも夜の営みも外に漏れて聞こえてしまう**貧弱な安アパート**のことを詠っています。多くのサラリーマンの新婚時代はそんなところに住んでいたんですよね。「口論」と「乳繰り合い」を並べている（痴話喧嘩）のが秀逸です。

**\*１５．一行の手書きが響く年賀状　（零門）　←　（７票）**印刷された文面の年賀状を受け取ることが多くなりましたが、たった一言でも**手書きで近況が添えられていると心に響き**ます。年賀状を出す方としては耳が痛いですよね。優秀川柳作家の**今月の最優秀句**です。

**１６．辞世には第九響かせ送り出せ　（井波）　→　（０票）**ベートーベンの第九交響曲第四楽章はシラーの「歓喜に寄す」の独唱と合唱が使われています。作者は自分の葬式に第九を流して欲しいと……。

**１７．医療費が家計に響く喜寿米寿　（酔雅）　←　（３票）**年金暮らしの世代、それも後期高齢世代の家庭では医療費が高額になっているんです。実感でしょうね。

**１８．疳の虫読経響けば目を覚ます　（火酒）　←　（０票）**深読みの優秀句ですが、何故か点が入りませんでした。お経の声で赤ん坊がひきつけを起こしたというのですが、空腹な川柳子たちは「腹の虫」に直せと無風流の発言！

**１９．寝室に響くイビキのフルムーン　（明迷）　←　（４票）**ハネムーンではありません。老夫婦の寝る部屋からはイビキしか聞こえて来ません。優秀句ですが、作者は既に第十四句で選句されています。

**２０．世に響くツイート自在に勝拾う　（晃二）　←　（１票）**ツイートを駆使して言いたい放題の米大統領のことです。「勝」はいつまで続くでしょうか？

**２１．インフレは家計に響く主婦が泣く　（安兵衛）　←　（２票）**仰る事はごもっともです。経済学者の作者の意見ですから重み！がありますね。

**２２．背信の衝撃響き失禁す　（酔深）　←　（２票）**夫の裏切りでしょうか、それとも妻の浮気でしょうか。その衝撃の激しさは「下の漏れ」を誘発したというのです。経験でしょうか？

**２３．新年の抱負響かぬ美辞麗句　（我々好）　←　（２票）**元句は**「抱負心に響かぬ」**と字余りが豊富！でした。安倍首相を詠んだのです。うわべだけ飾った内容の乏しい新年の首相挨拶は国民の心には全く響かなかったのです。日本もアメリカも宰相に仰ぐべき人材を欠いていて心配な年になりそうだと作者は嘆きます。

**２４．リゾマンにソプラノ響く年の暮れ　（だし）　←　（０票）**「リゾマン」とは**リゾート・マンション**のことです。作者は国の内外のリゾートにコッソリとマンションを購入し、オペラ歌手のように歌を唄う女性を囲っている初夢を見ました。

**総評：新年の句会出席者は１０人（２０句）、欠席者３人の内投句２人（４句）を含む川柳総数２４句、「響く」（自動詞）のお題での合評会となりました。「家計に響くインフレ・医療費」「隣室、寝室に響く轟音・イビキ」等々が大いに響き渡りました。２月は「店」がお題です。どんな店が出て来るでしょうか、今から興味津々です。**

**―　今後の日程：**

**２月２４日（金）「店」（名詞）、３月２８日（火）「返す」（他動詞）、４月２５日（火）「粉」、５月１２日（金）「練る」、６月２３日（金）「柱」、７月２８日（金）以降のお題と日程は、３月の句会で発表します。**